

令和4年度 柏市立土小学校 5年生 総合的な学習の時間 プランシート 作成者：倉田・渡邊

単元設定の理由・背景

- ①素直で何事にも一生懸命頑張る児童であるが、型を破れずに新しいことに挑戦する意欲に欠けている。
- ②教育サミットで地域の方々から頂いた農業の後継者不足という課題に対して、土地域の「農業」を活性化させていくことで、自分たちが住んでいる 地域を大切に、何か力になれることはないだろうかと考えた。
- ③児童の実態 育てたい資質・能力 教材の特性 教師の願い 地域の特徴 地域の要請 各教科の関連など

単元名

単元目標 ・ つけたい力

知産知消 「直売所お知らせ隊」

・目標を持って調整しながら粘り強く取り組む・・・農家さんへのインタビューやアウトプットの活動を通して、試行錯誤を繰り返し、地域の方に知ってもらおう努力をする。・他者を認め、助け合う・・・グループで活動し、よりよいものにするため意見を出し合いながら協力して活動する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む度
評価規準	①地域の主産業である農業にかかわる生産、販売、流通は、生産者の願いとそれを支援する消費者との協力から成立していることを理解する。（概念形成：相互性） ②インタビューを中心とした調査活動を目的や対象に応じて適切に行い必要な情報を的確に記録する。（技能） ③土地域の農業について、直売所経営や自分で作る大切さについて理解し、農作物を作り続け食料自給率を上げることの良さを探究的に学習してきたことの成果であることに気づく。（探究的な学習のよさの理解）	①土地域の農作物に目を向け、農業における複雑な問題状況から課題を設定し、仮説をもとに解決方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。 ②課題解決に必要な情報を得るために、多様な方法から目的に応じて手段を選択して効率的に情報を収集し、種類に応じて蓄積する。 ③収集した異なる情報を多角的に考察して、課題に対して確かな理由や根拠を持つ。 ④自分の立場や意見を明確にして、相手や目的に応じて効果的な表現方法でまとめ、伝えたり発信したりする。	①課題解決を通して、自分の良さや他者の良さを理解し、異なる意見や他者の考えをまとめ、尊重しようとする。（自己理解・他者理解） ②課題解決に向けて自らが考える最善の方法を検討して協力して取り組む。（主体性・協働性） ③実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととしてとらえ進んで取り組もうとする。（将来展望・社会参画）

時	活動内容	学習のポイント 学習財・在・材(地域人材含む) カリマネ
4	・「農業」というキーワードからマインドマップを作る ・土地域の課題について理解する ・自分たちが土地域のためにできそうなことはないか考える。 ・野菜の直売所について知る	・農業に対するイメージと現状の認識を確認する。→社会、国語
10	・土地域にはどこにどんな直売所があるのか情報を集める。 ・実際に見学(フィールドワーク)にいき、PRして良いか許可を得る ・インタビューしながら必要な情報を得る。	登下校や放課後にどこに直売所があるか知る。実際に直売所の場所のみを伝え、グーグルストリートビューを使って安全な道を決める。→訪問する 児童・地域の農家8名にご協力頂く。関口さん・吉田さん・吉場さん・坂田さん・山野辺さん・平川さん・山野辺さん・豊田さん・引率は保護者の皆様→社会と国語
6	・集めた情報の中から、自分たちにできそうな内容を整理する。 ・決まったことを農家の方へ連絡して、許可をもらう	課題を解決するために自分たちにできることを選定する。 電話連絡で話すスキルを獲得し、解決方法を決定する。→社会と国語
20	・それぞれの選択した方法で課題を解決するべくアウトプットしていく。 ・作っているものを中間報告する。 ・考えられる方法(パンフレット・ブックレット・ポスター・チラシ・動画を作ってURLで知らせる) ・完成した作品を届ける。協力のお礼を形にする。	・テーマに合わせて作品を作る。 中間発表 農家さんに今取り組んでいることを報告し、より良いものになるように、軌道修正する。農家さんの願いに近づけるようにする。 →図工と外国語と国語